

むささび

第21号

平成26年2月3日発行

JForest 北信州森林組合

〒383-0061 中野市大字壁田938-1

TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350

URL <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>

E-mail musasabi@jforest-kitashinshu.or.jp



中国輸出のため直江津港で荷下しされるスギの低質材

森林組合PR事業を全県で行っています。

SBC ラジオ「モーニングワイドラジオ JJ」
毎週月曜日、朝8時35分から40分まで
「森と暮らそう」を放送しています。

SBC ラジオ
豊かな森林キャンペーン

当組合放送予定 2月24日

主な内容

- 新春ごあいさつ 2
- 木質バイオマス発電 3
- 中国への木材輸出 4
- 曲り材の流通 5
- 今年度の視察・研修受入 6
- 現代林業表紙に荒井さん 7
- 消費税8%になります 8

年頭のごあいさつ



北信州森林組合

代表理事組合長 高森 壽實夫



明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

組合員の皆様方には、ご健勝のうちに新年をお迎えのこととお慶びを申し上げますとともに、日頃、森林組合の事業推進に格段のご支援、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、景気回復の気運が若干期待されておりましたが、地方では、まだまだその効果が実感としてあまり感じられない中で、長引く木材価格の低迷等により、林業を取り巻く情勢は、相変わらず厳しい状況でしたが、国の定めた森林・林業再生プランによる、2020年に国内木材需給率50%以上を目途として、森林整備の推進はもとより、国産材の需要拡大ということで建築物等木材利用促進法の公布、C・D材対応の木質バイオマスの活用促進、土木工用木材の利用促進、木材利用ポイント制度の創設等、いろいろな取り組みが新たに見られた年でもありました。

森林組合におきましても、組合員の皆様のご協力のもと、施業集約化・境界明確化事業は、新たに630haを実施し、累計で2,700haの実績となりました。また、森林整備における国の補助制度が保育間伐から収穫間伐へと大きくシフトしたことから、林産班の充実に力を入れ、新しくフォワーダ1台を購入、新年早々には、スイングヤーダ1台を購入予定で、現在、林産班4班体制で、12台の高性能林業機械が稼働しております。お蔭様で、一昨年13,000㎡台であった素材生産量は、昨年は、組合員の所有山林を主体に、20,000㎡の大台に近づいた年でもありました。更に中国へ300㎡と量的には少ないもののスギ材の輸出に初めて取り組みました。また、全国的にも珍しい、作業現場ごとにリアルタイムの情報を取り出せる管理システムの構築を行い、事業実施の円滑化を図りました。

今年度は、まだまだ森林・林業を取り巻く課題は多々ありますが、昨年に引き続き、「新たな木材需要の創出と強い林業づくり」に向けて、木材輸出の継続や生産コストの削減、作業路等の路網の整備、経営計画樹立のための境界明確化と集約事業等を更に進めるとともに、高性能林業機械等の基盤整備を充実させ、北信州の森林を「緑豊かな森林」とするため、更なる組合事業の発展に邁進いたし、組合員の皆様に安心して自分の山を任せて頂けるよう頑張ってお参りたいと思っております。

いずれにいたしましても、今年度も、集団施業のための基本となる、長期施業委託契約等を更に推進し、地域で纏まりのある森林整備を適切に進め、地域の発展に貢献していくこととしておりますので、組合員の皆様方にも、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

調達区分	該当する主な木質バイオマス	IRR (税前)	電力買取価格 (税抜)	電力買取価格 (税抜)	電力買取期間
未利用木材	・間伐材 ・対象森林から伐採された木材	8%	32 円	33.06 円	20 年
一般木材	・製材等残材 (由来の証明がされたもの) ・その他由来の証明が可能な木材	4%	24 円	25.20 円	
リサイクル木材	・建設資材廃棄物 ・その他の木質バイオマス		13 円	13.65 円	

出典：環境省「バイオマス発電（木材などの種類と調達価格）」2012.7
<http://www.env.go.jp/jishin/rmp/conf/06/mat05.pdf>

木質バイオマス発電と低質材の供給
 ……木材の安定供給が課題……

平成二十四年七月から再生可能エネルギーの固定買取制度がスタートし、全国各地で木質バイオマス発電事業が計画されています。その数は七十力所以上あり、全体の発電出力は百万キロワット以上となり、年間の木質チップ使用量は千二百万トン以上になります。

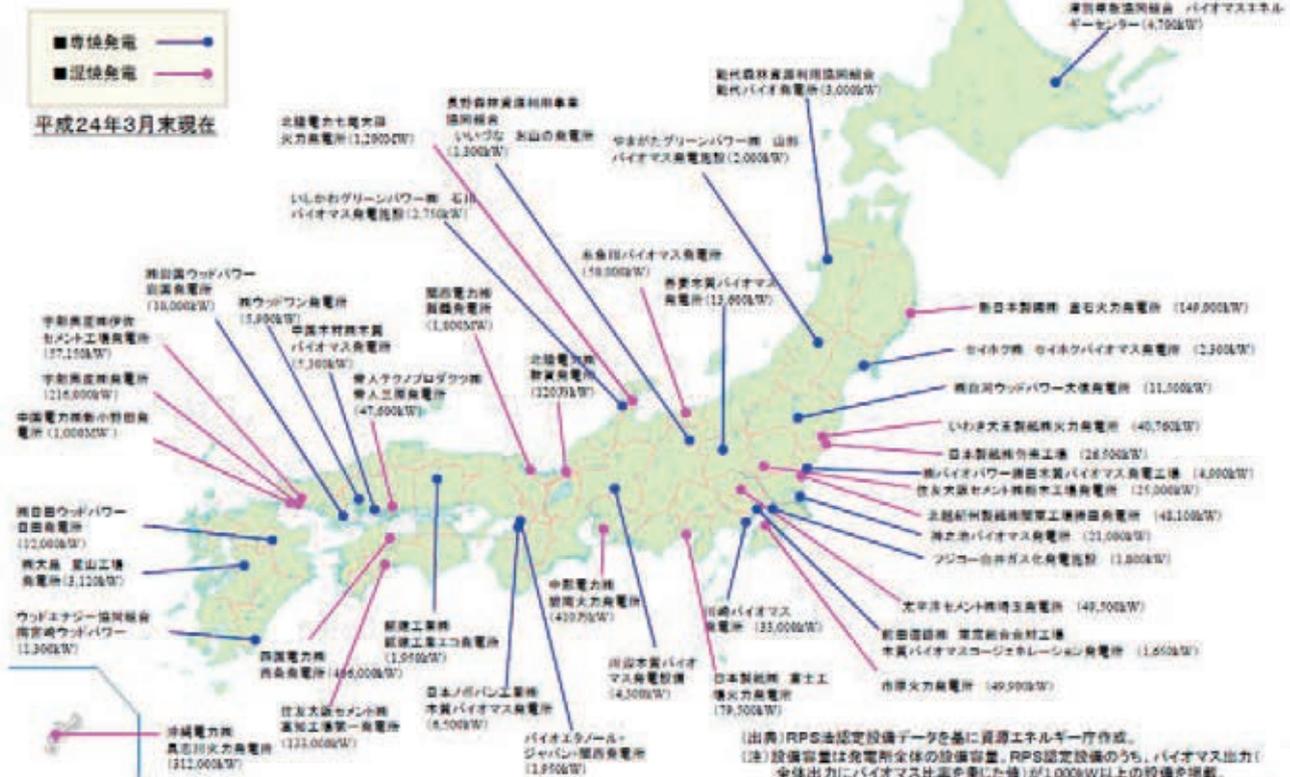
長野県でも既に一カ所が建設され、他に五カ所の計画があります。全国各地で、これらが計画通り建設されれば、既存の施設と合わせて、年間千七百万トン以上の木質チップが必要になります。この量は、全国で一年間に山林内に残される林地残材と同量であり、低質材の需要先として大いに期待するところです。

また、固定買取制度により、発電施設建設の補助金がなくなったため、融資による建設となり、融資条件として燃料である木材供給の確実性が重要になっています。

林業政策の転換により、各地で木材生産が増加していますが、低質材については、現在も多くが林内に残されています。これには、生産側の取引価格への不満があり、安定供給への道のりは遠い状態にあります。

しかし、需要が増えることは、当然価格にも反映することであり、当組合では他に先がけて供給体制を整えています。

木質バイオマスを活用した主な発電所MAP



低質材の販路拡大の試み

中国輸出は国内相場への刺激となるか

平成二十五年度の当組合の木材生産量は二万立米となり、それに合わせて低質材も同様に増加し、六千立米もの量が生産されました。昨年までは、林内に放置していたものですが、間伐の補助制度が面積ベースから生産量ベースに変更になったこともあり、大量の生産となりました。

このため、地元の需要だけでは賄えなくなり、三重県の木質バイオマス発電用などに販売を行ってきました。販売にあたっては地元での供給よりも有利になる価格設定ではありましたが、より有利な販売先を模索し、長野県森林組合連合会と栄村森林組合との共同出荷で中国への販売を試みました。今回、当組合からは三百立米の出荷ですが、円レートが上昇しない限り、次年度からは大幅に増加する見込みです。こうした販路の拡大により、低質材の国内相場を刺激して、価格の上昇につながればと考えています。



北信州の曲材



こんなに曲材でも使えるそうです。



かつて外材が積まれていた直江津港の木材ヤード、今はがら空きです。

豪雪地である北信州は、雪の影響による曲り材が多い地域です。かつては、曲材でも短材にして板に製材し、リング箱などに利用されてきました。しかし、今の日本でそのような事は不可能です。しかし、中国では経済発展しているとはいえ、まだまだ人件費は安価ですので、かつての日本と同様のことができるようです。

これらの低質材は、曲り部分は短材にして板に製材されます。製材された板は梱包材として使用されることになります。いずれは中国からの輸入品を梱包して日本に戻ってくるかもしれません。

内陸県として初めての丸太輸出

木材輸出に全ての条件が適合

平成十三年に『北信州の森林と家をつなぐ会』が発足しました。当時の北信州地域では、どこかの製材所に行っても外材ばかりが置いてありました。そんな状況から、なんとか地元の木材を使って欲しいという思いから会を発足しましたが、会員となった製材所でも外材ばかり使っている状況でした。

海なし県でありながら、木材輸入港である直江津港が近かったことが一番の理由で、県内どの地域よりも外材が溢れていました。

それが今では管内の製材所には、地元産のスギ材が溢れるようになりました。それとは逆に直江津港では外材の取扱いが激減し、木材ヤードはがら空きとなっています。

国内でも有数の外材取扱港でしたので、逆に輸出にも適しています。バルク船による輸出には、二千立米を蓄積できるヤードが必要になりますが、そうした港は国内には数港しかないそうです。

港への輸送距離も当地からは近いので、県内の他の地域より、輸送コストは安価になります。

かつて外材に席巻されていた当地が、逆に日本でも他に例を見ない、木材輸出の適地だったとは、いったい誰が想像できたでしょうか。

曲り材の流通

コストダウンが曲り材を生む

下にある北信木材センターの市況表を見ると、規格に曲と書かれたものがあります。かつては、木材市場で取引される木材は、アカマツ梁材を除けば、左の図にある最大矢高が1%未満の物だけでした。しかし、合板用材の取引がされると、下の写真にあるように「**く**」の字の曲がり材であれば取引されるようになりました。

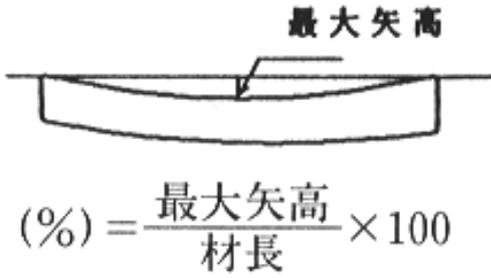
しかし、曲りでも出材して良いということになると、限度がなくなり、蛇のように曲がった物が出材されていきます。市況表の見方としては、規格が曲では、高値とは1%未満の物で直と同等の扱いに、中値は合板用としての扱いに、安値は製紙チップ用の扱いになります。

合板用も製紙チップ用も市場から工場への運賃などが、本来の取引価格から差引きされた価格となりますので、工場直送に比べてたいへん不利になります。

このため出荷前の選別が重要になりますので、これに対応できるよう、現場の技能職員の技量が求められます。

スギ丸太の価格は世界一安いと言われ、生産費のコストダウンが求められています。

そのため、各地で高性能



曲り (%) = $\frac{\text{最大矢高}}{\text{材長}} \times 100$



能林業機械が導入され、造材にはプロセスサという枝を払い、玉切をする機械が使われています。本来、曲りを見るには丸太の先端から見て造材の判断をしますが、プロセスサによる造材では、丸太の先端から見ることは困難です。条件が合えば丸太の元から見ることもできますが、側面から見る状況が多いのが実情です。オペレーターに対しては、判らないときは機械から下りて見るように指導しています。しかし、側面から直材に見える場合には、玉切りを行ってしまいます。逆に曲りの判断に時間を費やしていると、そのコストが不利に働いてしまいます。

当組合では、最終的な分別を丸太を小運搬する、フォワーダのオペレータに行わせ、各種の販売に対応でき

るよう、山土場で販売先別に極積し出荷しています。各現場では、集約化した担当者が現場管理を行っています。出材管理もしっかり行い有利販売をして所有者への還元につなげています。また、当組合では技能職員の細かい指示にも対応でき、現場の完成度を高めるため、給与を月給制としています。

しかし林業の現場では、報酬を出来高とする事が一般的であり、生産コストに重きが置かれ、細かな分別ができていない状況のようです。そのためか、今の木材市場には質の悪い材が多く出回るようになってい

第962回 納市市況表 (平成25年12月12日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター
Tel 020-295-0540 Fax 020-295-0547

○強気配 - 保含 △弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/m ³)	中値 (円/m ³)	安値 (円/m ³)	気配	備考
すざ	3.0	直	16~18	12,000	9,000	2,000	-	
		直	20上	12,200	10,000	2,000	-	直造材での出品下さい。
	4.0	込	8~13	5,100	4,300	-	-	
		直	14~20	13,000	9,800	5,000	○	
		直	22~28	14,100	11,500	5,000	○	中目出品お願いします。
		直	30上	14,300	11,200	6,500	○	
		曲	14~18	5,000	3,000	1,500	-	
曲	20上	12,500	5,000	2,000	○			
からま	4.0	込	6~13	13,000	6,000	1,500	-	細物直造材を心がけて下さい。
		直	14~18	12,000	8,500	3,000	○	芯札挿入出品下さい。
		直	20上	14,000	10,000	5,000	-	
		曲	14~18	10,000	5,000	1,500	-	
		曲	20上	11,650	9,000	2,000	○	
ひのき	3.0	直	16~18					
		直	20上					
	4.0	直	16~18	28,500	25,000		○	
		直	20~28	25,000	18,000		○	
		曲	14~18	18,300	16,000		○	
曲	20上	22,000	18,000		○			

出品量 2,970 m³ 販売量 2,964 m³ 落札率 100% 買い方 39 社

今年も多くの方が視察・研修に来られました

——— 当組合の先進的取り組みが注目されています。 ———

全国的に注目されている森林組合です。

林業施策が育林から収穫へと重点が変わる中で、実効性のある森林経営計画作成のために、境界明確化と資源量調査を絡めた施業集約化を行っています。そして、このための森林GISと、GPS受信機やデジタル方位距離計の導入など、全国に先駆けてIT化を進めてきたことが、多くの注目を浴びています。こうした当組合の取り組みについて、視察や研修などの受入が年々多くなっています。

当組合のこれまでの取り組みが、多くの関係者に評価されているものと考えています。

今年度は、特に県外からの視察が増え、遠くは鳥取県から鳥取市林業振興協議会の皆さんが二十九人も見えられました。また、千葉県の亀田郁夫県議さんは、林野庁から森林組合らしい取り組みをしている組合として紹介されて、視察と活動報告「響」の取材を兼ねて見えられました。

この他、県内の森林組合や、県や県林業労働財団の各種研修に、現場の提供と協力をしました。



大滝林業振興協議会の皆さん



鳥取市林業振興協議会の皆さん

平成 25 年度の視察研修受入実績

6月～7月	長野森林組合 境界明確化研修
6月21日	長野県林業大学校 タワーヤード信州型架線研修
6月27日・28日	信州上小森林組合 視察
6月28日	日本建築家協会 (JIA) 長野地域会 間伐団地視察
7月 8日・ 9日	長野県林業労働財団 フォレストワーカー研修
8月26日	長野県林務部 林業専門技術員巡回指導
9月 2日	下高井農林高校 高性能林業機械研修
9月 9日・10日	長野県林業労働財団 フォレストワーカー研修
9月11日	亀田郁夫千葉県議一行 視察
9月24日	佐久地方事務所 フォレストコンダクター研修
9月30日	下高井農林高校 チェーンソーアート研修
10月 4日	長野県林業労働財団 フォレストリーダー研修
10月23日	埼玉県秩父市大滝林業振興協議会 視察
10月30日	鳥取県鳥取市林業振興協議会 視察
12月 3日	信州大学農学部 中間土場調査



JIAの皆さん



林務部林業専門技術員巡回指導



フォレストリーダー研修



長野県林業大学校の研修



信州大学の調査

総務課の荒井さんが『現代林業』の表紙に登場しました

総務課に勤務する荒井和恵さんが、全国林業改良普及協会が発行する月刊誌『現代林業』の一月号の表紙に登場しました。現代林業の編集部から当組合に依頼があったもので、総務課の荒井さんが表紙のモデルとなりました。

撮影は十一月六日に、編集部から専門家が来て中野市の一本木公園で行われました。当日はたいへん天候に恵まれたうえ、秋のバラが咲き誇る中での撮影となりました。

現代林業一月号では、当組合の業務のIT化とネットワークとセキュリティについて紹介されています。

特に取材の中で、全国の森林組合の中でも特にIT化が進んでいること、また技能職員の月給制とその管理体制、施業集約化に

よる事業創出と地域の事業者への事業発注、そこから生産された木材利用の地域ネットワークの構築などについて、森林組合の理想的な姿が当組合に見ることができると、たいへん興味をもたれ、いずれ別の機会に特集したいとの要望をいただきました。



●表紙の人●



荒井和恵さん
北信州森林組合（長野県）

北信州森林組合は、長野県北部、中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村を管轄する広域合併組合。平成8年に中野市でスキ列状搬出間伐に取り組んだのをきっかけに、平成17年からは、デジタルコンパスとGPSを導入、これまで集約化と併せて森林境界明確化の実績は2700ha（24年度見込み）である。その間、組合ではIT化を進め4台のサーバーを駆使した情報管理システムを構築。管内の森林情報を管理することも、現場技術者、職員の完全月給制を担

保するため、現場ごとの精算根拠を詳細に管理する「実費精算方式」を採用。集約化事業を軸とした経営基盤の強化を図っている。一方で地域のコントローラセンターとして、管内林業事業体に安定的な事業発注をはじめ、地域に多くある製材業者と連携した地域材利用、そして地元工務店設計士との地域材住宅の普及も手掛けているところだ。さて、表紙を飾って頂いた荒井さんは、長野県飯綱町出身。結婚後は独学でITを学び、パソコン指導者として活躍していたが、昨年4月から当組合で総務とIT部門でセキュリティを担当している。「林業の世界は予想以上に奥が深いです。とにかく全体を理解できるようにしたいですね」と落ち着いた雰囲気語る荒井さん。ITを積極的に活用した森林組合を支える人材としてさらなる活躍に期待したい。

（編集部）

※表紙女性を募集しています。ご推薦ください。FAX03-3583-8465 ☎03-3584-6639
またはgr@ringyou.or.jpまで。※荒井さんの一言メッセージを全林協チャンネル（YouTubeで「全林協」と検索）で公開中

YouTubeにも荒井さんが登場しています。

You Tubeで荒井さんが当組合の紹介をしています。Zenrinkyo-YouTubeと検索して、出てきたサムネイルの2014『現代林業』1月号表紙の人をクリックすると、右の映像を見ることができます。

URL

<http://www.youtube.com/watch?v=RIH32IU1sGA&feature=c4-overview&list=UU4azh2p10Y1H3EJ9JN2OPfw>



4月1日から消費税が8%になります

消費税アップ後の価格(参考例)

原木きのご用種駒 (1000 個入り)

2,888 円 → 2,970 円

木酢液 20ℓ (管内の方)

4,620 円 → 4,752 円

木酢液 20ℓ (管外の方)

5,082 円 → 5,227 円

木炭 15kg

4,300 円 → 4,423 円

(記載の価格は全て消費税含めた価格です)

注文はお早めに

お願いします

四月二日納品から対象になります

四月一日から消費税が現在の5%から8%に引き上げられます。購買品や販売品は納品日が四月一日であれば消費税は8%になります。三月中に注文をいただいても、三月中に納品できなければ、消費税は8%になります。毎年、春には原木きのご用の種駒などの注文を多くいただいておりますので、消費税のアップ前の購入を希望される方は、早めにご注文いただきますようお願いいたします。

特に今年は三月二十九日三十日が土日になりますので、三月二十七日までに、ご注文いただきますようお願いいたします。

総代・参与委員の任期は5月10日までです

今年の総代会は現在の総代さんが出席します。

今年には総代・参与委員・連絡員が改選になります。任期は五月十日までです。四月に開催される総代会には、今の総代さんに出席いただくこととなります。お間違えのないようお願いいたします。なお、今年も順番で山ノ内町での開催になります。

既に次期総代・参与委員の選考準備を始めている地区もあります。選考の準備をお願いいたします。問合せには各支所担当が対応しますので、支所にお問合せください。

また、理事・監事については、任期は総代会終了まで、総代から選出された推薦委員会の推薦を受けて総代会で選任することになっています。

推薦委員は理事会で指名されますので、総代の皆さんにあつては、指名された際はよろしくお願いいたします。推薦委員は、中野、飯山、山ノ内、木島平、野沢温泉、豊田の総代から各二名が指名されることになります。

高水林業協議会総会のご案内

三月七日(金) 午後二時から、野沢温泉村の村の駅ねりんんで高水林業協議会の総会が開催されます。総会に合わせて座談会と山菜の販売、終了後懇親会が行われます。会員のほか一般の参加も募っております。希望される方は本所・支所から北信地方事務所林務課に申込みしてください。なお、懇親会参加される方は会費1000円のご負担となります。送迎バスが管内各所を廻る予定ですので、大勢の皆様がご参加されまうすようお願いいたします。

問合せ先 北信地方事務所林務課 担当 上野主査

TEL 0269-22-3111

人事異動 退職 (一月三一日付) 総務課飯山支所担当 嘱託職員 小澤雅子

本所・中野支所	〒383-0061 中野市大字壁田 938 番地 1 TEL 0269-38-0371(代) FAX 0269-23-5350
利用事業室・飯山支所	〒389-2255 飯山市大字静間 383 番地 14 TEL 0269-62-8111 FAX 0269-62-8111
山ノ内支所	〒381-0405 山ノ内町大字夜間瀬 6819-1 TEL 0269-33-8665 FAX 0269-33-8678
木島平支所	〒389-2302 木島平村大字往郷 973-1 TEL 0269-82-3123 FAX 0269-82-3123
野沢温泉支所	〒389-2592 野沢温泉村大字豊郷 9817 TEL 0269-67-0454 FAX 0269-85-3803
豊田事業所	〒389-2192 中野市大字豊津 2508 TEL 0269-38-3111 FAX 0269-38-2774
ねりんん	〒389-2613 野沢温泉村大字虫生 2383-1 TEL 0269-85-4441 FAX 0269-85-4441
直売所	TEL 0269-85-4141 FAX 0269-85-4141

編集後記

今年度は搬出間伐で 20,000 立米を生産するなど、組合の姿も合併から 12 年が経ち大きく変化しました。

組合員が主役の組合を目指して、職員一同がんばって参ります。

今年もよろしくお願いいたします。